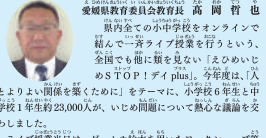


えひめの子どもたちのメッセージ

～人よりよい関係を築くために～



愛媛県教育委員会教育長 高橋 隆浩
県内での小中学校をオンラインで結んで一斉ライブ授業を行うという、全国でも他に類を見ない「えひめのじめSTOP! デイplus」。今年度は、「人よりよい関係を築くために」をテーマに、小中学校6年生と小学校1年生が23,000人が、この機会を通じて心豊かな関係を築きました。

ライブ授業当日は、ゲームや絵本を用いたワークショップ等を通して、「互いの違いを認め合うことの大切さ」、いじめられては困る人より寄り添うべきか、「いじめの被害に遭ったら自分ごとで行動すべきか」など、いじめの被害に遭った人への向き合い、みんなが前向きな気持ちで学校生活を送るための心豊かな話し合いが行われました。90分という時間で盛りだくさんだったかもしれませんが、いじめ問題について、他学年の友達や、家族など周りの大人の人と一緒に考えながらかかるとともに、この日誌のことを自分の生活に取り入れ、いじめのない学校、学校づくりに向けて取り組んでいくことと期を切っています。

また、本年度から、県内の公立小中学校で、小学校6年生から中学校3年生を対象に、1人1台端末を活用して、人よりよい関係を築く力を伸ばしていくための「ジャンミカタプログラム」の運用がスタートしますが、この「ジャンミカタ」という言葉には、次のような意味を込めています。

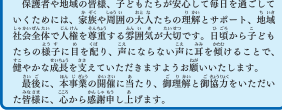
自分が誰かの味方（ミカタ）になる
自分の味方（ミカタ）を増やす
自分が自分の味方（ミカタ）になる
自分や人の見方（ミカタ）を振り返る

今回のライブ授業も、「自分を知ることは大事」「自分と大切にできる人は他人も大切にできる」といったメッセージがありました。今後、このプログラムも活用しながら、自分や人のミカタを見つけたいと思っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが安心して毎日を送っていくためには、家族や周囲の大人との理解とサポート、地域社会全体で人権を尊重する姿勢が大切です。目標が子どもたちの様子に目を配り、声にならない声に耳を傾けることで、健全な成長を支えていきたいと思います。

最後に、本事業の開催に当たり、御理解と御協力をいただいた皆様へ、心から感謝申し上げます。

もう たん まど ち
相談窓口
困ったときは、一人で悩まないで
いじめ相談ダイヤル24
ひよりくまのいじめ相談センター
0120-0-78310



【リモート校】
今期は公立小中学校



【愛媛大学教育学部の学生から】
新学期や日々のライブ授業、お話しを聞いてほしいです。



会場にいる児童生徒だけでなく、オンラインでつながった県内各地の児童生徒が全員で一つのテーマについて考えを共有してともに学びました。みんながよりよい人間関係の築き方について考えを深めていく様子から、私たちもよりよい人間関係を築くことの大切さを再認識することができました。今回のライブ授業に出た意見を、それぞれが学校で取り組める、一人ひとりの個性を尊重した取り組みを実施することを目指します。児童生徒の皆さんは今回のライブ授業で学んだことを大切に、過ごしてほしいです。私たちも今回の授業で学んだことをもとに活動に取り組めるよう頑張ります。

【事前授業の感想】

○ 人には、その人の「個性」がある。それが違うからと言って、いじったり、からかったり、バカにするのはいけない。みんなの違いを尊重して生活していけばいいと思います。

○ いじめが起る原因は、人との関わり、いじめられている人の自信がないなど様々な理由があることを知りました。

○ 普段の生活でいじりあったり、相手の気持ちを考えたりして、自分もいじられるかもしれないことがあったので、これからは相手の気持ちを尊重し、互いの気持ちを理解しなければいけないと思いました。

【ライブ授業後のアンケート】

Q えひめいじめSTOP! デイplus を実施しました。感想を教えてください。

○ 大満足です。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。

【ライブ授業後のアンケート】

Q カン持ちゲームを体験して、グロはいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。

えひめ愛顔の子ども新聞

小中学生 約23,000人が参加

えひめいじめSTOP! デイplus

11月21日

県内一斉ライブ授業

人とよりよい関係を築くために

県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP! デイplus 開催!

今年6月11日(日)、松前県文化センターをメイン会場に、県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP! デイplus」が開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、「人とよりよい関係を築くために」をテーマに話し合い、学び、考えを深めました。

ライブ授業の前半は、ワークショップを通して、自分にとっての普通は他人にとっては普通ではないことを学びました。「カン持ちゲーム」ではセンター校が代表として実践し、登場人物の行動について全員で考え話し合いました。「友達が増えたり減ったりすることに気付くことができるといいな」といなど、登場人物の立場でどのように行動したらいいのかなど様々な意見が交わされました。授業の中間には、グロのライセンス繪本—繪本さんが作った繪本「グロはいいやつよ」の絵巻の巻、繪本さんと井いじめへの対応策について話し合いました。ライセンスを通して、自分と大切にできる人、辛い思いをしている人を寄り添い、守り支えることの大切さについて理解が深まりました。授業の後半には、人間環境大学の伊藤義徳先生から説明があり、よりよい人間関係を築くために必要なことについて話し合いました。そして、自分や周りの人のごとく知ることで、いじめの起こりにくく学校づくりについて考えることができました。

事前授業

センター校・リモート校では、愛媛県教育委員会による事前授業を実施し、「いじめはなぜ起こるのだろう」をテーマに考えました。

【セミナー】

自分が誰かの味方（ミカタ）になる
自分の味方（ミカタ）を増やす
自分が自分の味方（ミカタ）になる
自分や人の見方（ミカタ）を振り返る

今回のライブ授業も、「自分を知ることは大事」「自分と大切にできる人は他人も大切にできる」といったメッセージがありました。今後、このプログラムも活用しながら、自分や人のミカタを見つけたいと思っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが安心して毎日を送っていくためには、家族や周囲の大人との理解とサポート、地域社会全体で人権を尊重する姿勢が大切です。目標が子どもたちの様子に目を配り、声にならない声に耳を傾けることで、健全な成長を支えていきたいと思います。

最後に、本事業の開催に当たり、御理解と御協力をいただいた皆様へ、心から感謝申し上げます。

ゲームを通して

ゲーム1 【好きなお菓子のネタ】教えて・自己満足に何にかけて食べる?

ゲームを通して、人にはいろいろな考え方や考えがあること、それには、正解も不正解もないということを知りました。そして、互いの個性を尊重し、認め合いながら生活することの大切さをみんなで確認しました。

この絵本の中大きなキーワード「グロ」について藤原さんに見てもらおうよ

グロ 自分の中の嫌だったことや、受け入れられない感情を言葉で表現。
クスリ 得意のしりをするもの。「あるといいな」と思っているものをクスリという言葉で表現。

ゲーム2 【カン持ちゲーム】

4人での陣取り、じゃんけんに負けた人が他の人のカバンを次の電柱まで運ぶカン持ちゲームを通して、いじめについて考えました。【電柱に陣取り、交わりのじゃんけんが行われます。】その後、4人それぞれ立場で考えることを考えました。

ライブ授業当日

絵本「グロはいいやつよ」を読んで

絵本「グロはいいやつよ」は、藤原さんご自身の体験をもとに「いじめ」をテーマに作られました。

【読み聞かせを聞いて考えたこと】

- 主人公のような経験をしている友達に出会った助けたい。自分がいじりかたから、賢く賢くできる人に相談したい。大事になる前に、早めに」と言う。

【ライブ授業後の感想】

- 「グロはいいやつよ」を読みといて、つらいことがあると、繪本の「グロ」のように寄り添ってくれる人がいたらいいなと思うようになった。そのために、周りの子が辛い思いをしていないかと気が配った。友達に自分もいじめをしたらいいように話掛けようと思います。そして、人によって考え方は違うのだから、しっかりと受け入れてあげたい。
- 藤原さんの書いた絵本の意味が最初は分からなかったけど、藤原さんの話を聞いて、伝えたいことが分かってきた。「誰かがいじめたからあかん」という言葉がすごく心に響きました。これからは、いじめた人にも、いじめられている人にも、勇気を出して助けてあげたいと思いました。
- 「グロはいいやつよ」を初めて聞いて、いじめをされて、泣くとか、辛いとかは聞かなくて、グロと表現していることに驚きました。いじめられている子がいるんだから、その人を助けてあげよう」と言うことが楽しい学校生活につながる。「カン持ちゲーム」をすることで自分もよくない。

【よりよい人間関係の築き方】について

人間環境大学総合心理学部の伊藤義徳先生から「よりよい人間関係の築き方」について説明がされました。

よりよい人間関係を築くためには、「よいアクション」を積み重ねることが大切である」との話があり、その後ワークショップ等を行いながら、自分のできることに「意見交換」を行いました。

【よりよい人間関係を築くために自分ができること】

- ・個性を尊重し、違いを否定しないでも合う。
- ・よいこととよくないことをしっかりと見分けてから行動する。
- ・自分からよいアクションを促す。
- ・本音を伝える。
- ・人の意見を一度受け入れて、考えてから行動する。
- ・いろいろな人と話をして、違いを認め合う。
- ・自分を大切に、周りに配慮される。

よいアクションを積み重ねよう!

プログラムを取り組むことは、次の五つです。

- ① 21問のセルフチェックに回答する。
- ② すぐできることからグループやメッセージカード、心や体の状態を振り返る。
- ③ 1ヶ月間取り組むためのアクションを一つ選ぶ。
- ④ 自分で作ることもできる。
- ⑤ 初めてのアクションに1ヶ月間取り組む。1ヶ月後、結果を振り返る。

【ライブ授業後のアンケート】

Q えひめいじめSTOP! デイplus を実施しました。感想を教えてください。

○ 大満足です。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。

Q カン持ちゲームを体験して、グロはいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。

○ いじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。

講師から

ライセンス 藤原一裕さん

小中学生の話し合いワークショップの様子を振り返りながら、「個性を認め合うことが大切」と提案されました。自分と違う人に出会った時、「知らない」と思うのではなく、「面白い」と受け入れることが大切だと話されました。自分と違う人に出会った時、「知らない」と思うのではなく、「面白い」と受け入れることが大切だと話されました。

講師から 伊藤義徳先生

いじめの被害に遭った人への向き合い方について、いろいろな気持ちがあって、そこから受け止めてくることが大切だと話されました。自分と違う人に出会った時、「知らない」と思うのではなく、「面白い」と受け入れることが大切だと話されました。

【ライブ授業後の「保護者アンケート」】いじめをなくするために、お子さんたちにに向けて一言

「人それぞれの個性を尊重し、思いやりのある心もち、よりよい人間関係を築いてほしい。」「物語の言葉は理解できても、それを実行し、よりよい行動を取ることは難しいことだと思っただけ、勇気をもって踏み出してほしい。」「助けを求めることは恥ずかしいことではない。自分の心をちゃんと大切にしてほしい。」「『考え』ことを忘れず、楽しく生きてほしい。」「世界は自分が思っているよりずっと広いし、場所はずそう簡単にはなくなっていく」ということを伝えたい。

【ジャンミカタプログラム】がはじまるよ

「アンケートに答えた結果、教えてくれるアクションを実行することで、自分の生活がよりよくなる気がする」という声が多く聞かれました。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。

【えひめいじめSTOP! デイplus】で、ジャンミカタプログラムを先に体験した友達から、このような感想が寄せられました。

「アンケートに答えた結果、教えてくれるアクションを実行することで、自分の生活がよりよくなる気がする」という声が多く聞かれました。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。

【えひめいじめSTOP! デイplus】で、ジャンミカタプログラムを先に体験した友達から、このような感想が寄せられました。

「人とうまく関わる方法が分かった」「人に人との差を潰れればよいから分かった」

令和5年に最優秀賞委員会が実施したアンケートから、小中学生の約4割がこう感じているということが分かりました。原因はいくらあるかと思いましたが、新型コロナウイルス感染症が流行し、学校行事や部活動が中止・縮小された結果、人と人の接点機会が大幅に減ったことと大きいのではないかと感じています。

そこで、この状況を改善し、小中学生のみんなが心や体の健康や周りの人との関わりを大切に理解するとともに、人とよりよい関係を築く力を伸ばすことを目的として、「ジャンミカタプログラム」を開発し、いよいよ本年度（来年度）から小学1～3年の皆さんを対象にスタートすることになりました。

プログラムを取り組むことは、次の五つです。

- ① 21問のセルフチェックに回答する。
- ② すぐできることからグループやメッセージカード、心や体の状態を振り返る。
- ③ 1ヶ月間取り組むためのアクションを一つ選ぶ。
- ④ 自分で作ることもできる。
- ⑤ 初めてのアクションに1ヶ月間取り組む。1ヶ月後、結果を振り返る。

【よりよい人間関係を築くために自分ができること】

個性を尊重し、違いを否定しないでも合う。

よいこととよくないことをしっかりと見分けてから行動する。

自分からよいアクションを促す。

本音を伝える。

人の意見を一度受け入れて、考えてから行動する。

いろいろな人と話をして、違いを認め合う。

自分を大切に、周りに配慮される。

よいアクションを積み重ねよう!

プログラムを取り組むことは、次の五つです。

- ① 21問のセルフチェックに回答する。
- ② すぐできることからグループやメッセージカード、心や体の状態を振り返る。
- ③ 1ヶ月間取り組むためのアクションを一つ選ぶ。
- ④ 自分で作ることもできる。
- ⑤ 初めてのアクションに1ヶ月間取り組む。1ヶ月後、結果を振り返る。

【ライブ授業後のアンケート】

Q えひめいじめSTOP! デイplus を実施しました。感想を教えてください。

○ 大満足です。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。自分もいじめられるかもしれないと気づきました。

Q カン持ちゲームを体験して、グロはいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。

○ いじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。

【ライブ授業後のアンケート】

Q えひめいじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。

○ いじめSTOP! デイplusに参加して、やっぱりいいなと思いました。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。いじめのない学校にしたいです。